第 14 講　近　世（大航海時代〜鎖国まで）

Step　1

1　次の問いに答えなさい。

⑴　11 世紀末〜13 世紀，聖地エルサレムをイスラーム教徒から取り戻すため，継続的に派遣され失敗に終わったキリスト教軍を何というか。

⑵　ルネサンス〔文芸復興〕が始まった地域（現在の国名で）はどこか。

⑶　アメリカ大陸を発見したとされる人物とは誰か。

⑷　1549 年，日本にキリスト教を伝えたザビエルが所属していた，カトリック修道会を何というか。

⑸　1573 年，織田信長に追放された室町幕府 15 代将軍とは誰か。

⑹　1582 年，本能寺の変で主君の織田信長を討った人物とは誰か。

⑺　豊臣秀吉による 2 度の朝鮮侵略は，（日本では）それぞれ何とよばれているか。順に書け。

⑻　豊臣氏が大坂夏の陣で滅亡した年を，西暦で書け。

⑼　江戸幕府で，老中を補佐する重職を何というか。

⑽　徳川“御三家”を家柄・石高の順に 3 つ書け。

⑾　シャムのアユタヤ日本町の指導者で，王室との関係を深めた人物とは誰か。

⑿　鎖国体制下，朝鮮・琉球王国・アイヌとの交流を許された藩を，それぞれ順に書け。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

Step　2

2　次のⅠ・Ⅱは，異なる時代に定められたおもな法律などについてまとめたものです。これをみて，問１・問２に答えなさい。

Ⅰ	戦国時代になると，各地に登場した戦国大名が，独自の分国法を定めて武士や領民の行動を取りしまり，領国を統一して支配する新しい政治を行った。

Ⅱ	幕府は，武家諸法度という法律を定め，大名が許可なく城を修理したり，大名どうしが無断で縁組をしたりすることを禁止した。

問１　次のＸ～Ｚについて，Ⅰの戦国時代に起こった世界のできごとを述べた文として，その正誤の組み合わせが正しいものを，あとのア～エの中から一つ選び，その記号を書きなさい。

Ｘ　大西洋を横断してカリブ海の島に達したコロンブスは，そこをインド（アジア）の一部だと信じた。

Ｙ　モンゴル高原で遊牧生活をしていたモンゴル民族から出たチンギス・ハンは，部族を統一して国を建設した。

Ｚ　自由貿易や奴隷制をめぐる対立から南北戦争が始まり，リンカン大統領の指導のもとに，合衆国の統一と奴隷の解放を図る北部が，この内戦に勝利した。

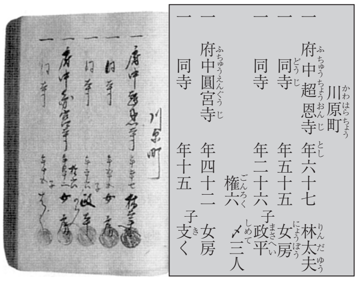
ア　Ｘ　正　Ｙ　誤　Ｚ　誤　　イ　Ｘ　正　Ｙ　誤　Ｚ　正
ウ　Ｘ　誤　Ｙ　正　Ｚ　誤　　エ　Ｘ　誤　Ｙ　正　Ｚ　正

問２　次の資料１は，Ⅱの時代において，幕府が大軍を送って鎮圧した一揆軍の旗です。資料１が使用された一揆の名称を書きなさい。また，この一揆などにより，幕府が強化したキリスト教禁止に関する政策の内容について，資料２及び資料３を用いて説明しなさい。

資料１

資料２

資料３



【埼玉県】

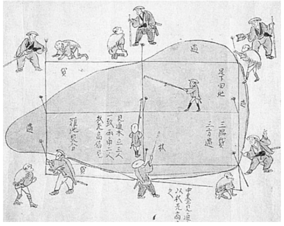
©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

3　右は，ある人物の政策を表している。次のア～ウに答えなさい。

諸国の百姓が刀やわきざし，弓，やり，鉄砲，そのほかの武具などを持つことは，かたく禁止する。

ア　その人物は，右の資料と同じような検地を行い，その結果，土地の収穫量を表す基準が定められた。この基準を何というか，**漢字2字**で書きなさい。

資料



イ　この政策や検地などによる社会の変化について述べた次の文中の□に入る適切な内容を，**身分**という語を用いて書きなさい。

この政策や検地などによって，□，社会は安定した。

ウ　この政策が行われた時代の歴史的建造物として最も適切なものを，次の1～4の中から一つ選び，その番号を書きなさい。

1

銀閣

2

姫路城（ひめじ）

3

金閣

4

東大寺南大門

【青森県】

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Step 3

4　るみさんは，時代区分ごとに興味をもった建築物を取り上げ，社会や文化の移り変わりについてまとめを書いた。1・2の問いに答えなさい。

［るみさんのまとめ］

近世　安土城（復元模型）

織田信長は安土城を築き，城下の商工業の発展を図った。

この時期，南蛮貿易が行われ，①キリスト教の宣教師も，南蛮船と呼ばれた貿易船に乗り，日本にやってきた。布教活動を行うキリスト教の宣教師は，織田信長に優遇されたが，1587年，豊臣秀吉の②バテレン追放令によって国外追放を命じられた。

1　下線①について，ヨーロッパではルターやカルバンが，ローマ教皇の方針を批判し，聖書の教えに立ち返ろうと改革を始めた。この改革の名を書きなさい。

2　下線②について，るみさんは，グラフを作成し，メモを書いた。［　　　］にあてはまる文を，ア～エから一つ選び，符号で書きなさい。

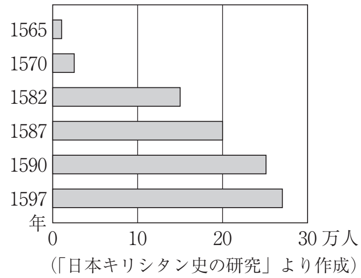
ア　朝貢の形式による日明貿易を認めていた

イ　ポルトガル船との交易を奨励していた

ウ　オランダ船との交易を長崎の出島で許していた

エ　朝鮮の求めにより倭寇を取りしまっていた

［グラフ］　キリシタンの増加



（「日本キリシタン史の研究」より作成）

［メモ］

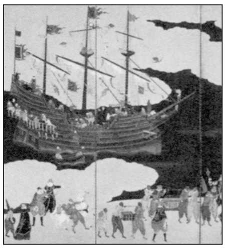
グラフから，バテレン追放令以後も，キリシタンが減っていないことがわかる。その理由の一つに，バテレン追放令が，宣教師に国外追放を命じる一方で，［　　　］ことがあげられる。

【岐阜県】

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

5　花子さんたちは，社会の授業で，「人や物の交流の歴史」をテーマにして調べ学習をすることになり，調べたことをノートにまとめ，話し合いました。後の各問いに答えなさい。

ノート１〈太郎さんのノート〉



メモ
・南蛮人と呼ばれていたポルトガル人やスペイン人が日本に来航し，鉄砲や時計などを伝えた。

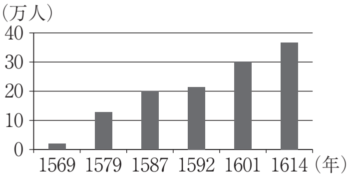
明美さん：南蛮人の来航はいつまで続いたのかな。
春男さん：江戸幕府も南蛮人の来航を最初は認めていたけれど，後に禁止したそうだよ。
花子さん：なぜ南蛮人の来航を禁止したのかな。
太郎さん：その背景について調べてみるよ。

ノート２〈太郎さんのノート〉

年表　豊臣秀吉と江戸幕府の対外政策

1587年	豊臣秀吉がキリスト教の宣教師の国外追放を命じる。
1613年	江戸幕府は全国でキリスト教を禁止する。
1624年	スペイン人の来航を禁止する。
1635年	日本人の海外渡航と海外からの帰国を禁止する。
1639年	ポルトガル人の来航を禁止する。
1641年	平戸のオランダ商館を長崎の出島に移す。

グラフ　キリシタンの数（推計）



■キリシタンの数（イエズス会の宣教師などの報告をもとに推計した数）
［五野井隆史著「日本キリスト教史」より作成］

明美さん：豊臣秀吉がキリスト教の宣教師の追放を命じてからも，江戸幕府がキリスト教を禁止するまでの間にキリシタンの数が増えているね。どうしてかな。
春男さん：①南蛮人の来航が続いていたことも関係していると思うよ。
明美さん：それで，豊臣秀吉が宣教師の追放を命じた後もキリシタンが増えているんだね。だから，後にスペイン人やポルトガル人の来航も禁止されたのではないかな。
花子さん：年表にあるように，オランダ人は長崎の出島に移されて，限られた日本の商人とだけ貿易を行い，②幕府にオランダ風説書を提出しなければならなかったそうだよ。
明美さん：海外との交流が制限されたんだね。国内の船による輸送はどうなのかな。調べてみるね。

1　下線部①について，豊臣秀吉や当初江戸幕府は，なぜ南蛮人の来航を認めていたのか。その理由を書きなさい。

2　下線部②について，どのような目的で，幕府にだけオランダ風説書を提出させていたのか。書きなさい。

【滋賀県】

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

〈 ***Note*** 〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。

第 14 講　近　世（大航海時代～鎖国まで）

Step　1

1　(1) 十字軍　(2) イタリア　(3) コロンブス　(4) イエズス会　(5) 足利義昭　(6) 明智光秀　(7) 文禄の役・慶長の役　(8) 1615 年　(9) 若年寄　(10) 尾張・紀伊・水戸　(11) 山田長政　(12) 対馬藩・薩摩藩・松前藩

Step　2

2　問 1. ア　問 2.（名称）島原・天草〔の〕一揆（いっき）（または，島原の乱）（説明）キリスト教徒を発見するために絵踏を行ったり，宗門改によって，仏教の信者であることを寺に証明させたりした。（同意可）

3　ア．石高　イ．武士と農民の身分の区別がはっきりし（または，身分に応じた職業によって生活するという近世の社会のしくみが固まり）（同意可）　ウ．2

Step　3

4　1．宗教改革　2．イ

5　1．貿易の利益を重視していたから。（同意可）
2．幕府が海外の情報を得ようとしたため。（同意可）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製･転載を禁止します。